

2021年7月16日

## TLS1.0/1.1 による暗号化通信の無効化について

MS&AD インターリスク総研株式会社

平素より、発災時拠点震度チェッカー（以下 震度チェッカー）をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

この度、セキュリティ対策として、TLS1.0/1.1 による暗号化通信を無効化いたしました。今後は、TLS1.2 での接続をお願い致します。

表 1. SSL/TLS の変更点

	TLS 1.0	TLS 1.1	TLS 1.2	TLS 1.3
変更前	有効	有効	有効	無効
変更後	無効	無効	有効	無効

TLS1.0/1.1 による通信を制限することにより、第三者によるなりすましやデータ改ざんのリスクを軽減します。

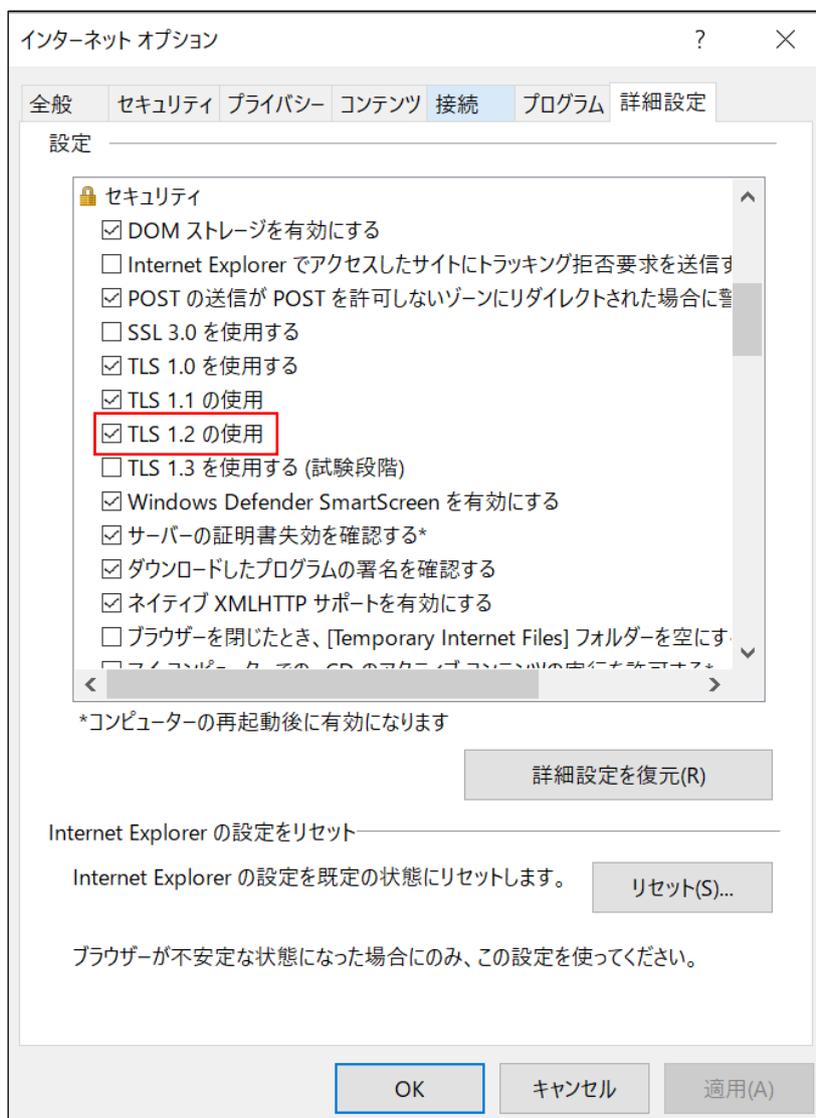
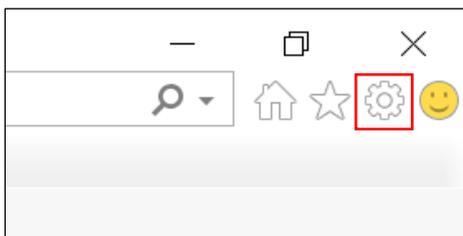
### ※ 注意事項

ご利用のブラウザによっては、震度チェッカーにアクセスできなくなる場合がございます。TLS1.2 に対応したブラウザをご利用いただきますようお願い致します。また、TLS1.2 に対応したブラウザであっても、設定で TLS1.2 が無効化されている場合がございます。ご利用のブラウザの設定をご確認いただき、必要な設定を行ってください（Internet Explorer 及び Mozilla Firefox は、後述の方法で設定が可能です）。

また、Google Chrome、Microsoft Edge、Apple Safari で接続ができなかった場合は、ブラウザを最新バージョンにアップグレードすることで接続が可能です。

## ブラウザの設定方法 (Internet Explorer)

1. Internet Explorer を起動し、画面右上の  から「インターネットオプション」を開く。
2. 「詳細設定」タブを選択し、セキュリティ項目の「TLS1.2の使用」のチェックボックスをチェックする。
3. 「OK」もしくは「適用」をクリックし、設定を反映する。



## ブラウザの設定方法 (Mozilla Firefox)

1. Firefox の URL 欄から「about:config」にアクセスする。
2. 警告画面が表示されるので、先に進む。
3. 「security.tls.version.max」の値を3もしくは4にする。
4. Firefox を再起動し、設定を反映する。

